

エコルマホール開館20周年記念企画

～ベートーヴェンをたたえて2～

9人のピアニストによる ピアノ・ソナタ 全32曲演奏会

エコルマホール開館20周年を記念してお贈りする企画、ベートーヴェンをたたえて。第2弾は「ピアノの新約聖書」とも言われ、古今の多くのピアニストや聴き手を魅了し続けているピアノ作品の金字塔でもある、ピアノ・ソナタ全32曲を取り上げます。

今回、この全32曲演奏のために、これからの日本のピアノ界を担う若手から、日本を代表するベテランピアニストが集まり、それぞれのベートーヴェンを表現します。

常に歩みを止めることのなかったベートーヴェン。青年期から晩年まで作曲し続けたピアノ・ソナタを順番に聴く事が出来る、滅多にない機会です。ぜひ、ベートーヴェンを体感して下さい！

Beethoven Piano Sonata Cycle

2015.10.24 [土]



① 13:00開演 (12:30開場)

[出演] 伊藤 恵

[曲目] ソナタ 第1、2、3、4番



② 16:00開演 (15:30開場)

[出演] 菊地裕介

[曲目] ソナタ 第5、6、7、8番「悲愴」

10.25 [日]



③ 11:30開演 (11:00開場)

[出演] 松本和将

[曲目] ソナタ 第9、10、11、12番「葬送」



④ 14:15開演 (13:45開場)

[出演] 高田匡隆

[曲目] ソナタ 第13、14番「月光」、15番「田園」



⑤ 16:45開演 (16:15開場)

[出演] 児玉麻里

[曲目] ソナタ 第16、17番「テンペスト」、18番

10.31 [土]



⑥ 13:00開演 (12:30開場)

[出演] 若林 顕

[曲目] ソナタ 第19、20、21番「ワルトシュタイン」、22、23「熱情」



⑦ 15:45開演 (15:15開場)

[出演] 仲道郁代

[曲目] ソナタ 第24番「テレーゼ」、25、26番「告别」、27番、エリーゼのために

11.1 [日]



⑧ 13:00開演 (12:30開場)

[出演] 北村朋幹

[曲目] ソナタ 第28、29番「ハンマークラヴィーア」



⑨ 15:30開演 (15:00開場)

[出演] 野平一郎

[曲目] ソナタ 第30、31、32番

単独公演券：全席指定 ¥2,000

*全9公演セット券あり・全席指定 ¥10,000 (期間限定販売・全公演同一席)

狛江 エコルマホール ●728席・小田急線狛江駅北口、徒歩1分
●小田急線ご利用：新宿から約20分、登戸から約3分 ●バスご利用：調布駅から約15分

主催：一般財団法人 狛江市文化振興事業団 <http://ecorma-hall.jp> [@ecormahall](https://twitter.com/ecormahall) 協力：山石屋洋琴工房

お申込み・お問合せ エコルマホール 03(3430)4106

ECORMA HALL



音楽の街-狛江

10.24 [土]

1 13:00開演 (12:30開場)

*終演予定 15:00ころ

[出演] 伊藤 恵

Kei
Itoh



[曲目]

- ソナタ 第1番 ヘ短調 Op.2-1
- ソナタ 第2番 イ長調 Op.2-2
- ソナタ 第3番 ハ長調 Op.2-3
- ソナタ 第4番 変ホ長調 Op.7

有賀和子氏、ライグラフ氏に師事。83年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン国立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演に出演。日本ではN響と協演をはじめ、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍。録音はシューマン・ピアノ曲全曲録音他多数。07年秋には、シューマン・ピアノ曲全曲録音完成記念コンサートを行った。最新版は「シュベルト ピアノ作品集6」。また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本をはじめ武生音楽祭などに参加。08年から15年までの新たな8年シリーズではシュベルトを中心としたリサイタルを開催。今後はベートーヴェンのソナタを取り上げていく予定。93年日本ショパン協会賞、94年横浜市文化賞奨励賞受賞。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。エコルマホールには2006、2014年に登場。http://kei-itoh.com

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: 偉大な天地創造の世界! 常に新しい宇宙が生まれる瞬間のようなエネルギーに包まれながら、生きるとは何か、時に厳しく、時に優しくベートーヴェンに問われる。

2 16:00開演 (15:30開場)

*終演予定 17:30ころ

[出演] 菊地裕介

Yusuke
Kikuch



[曲目]

- ソナタ 第5番 ハ短調 Op.10-1
- ソナタ 第6番 ヘ長調 Op.10-2
- ソナタ 第7番 ニ長調 Op.10-3
- ソナタ 第8番 ハ短調 Op.13「悲愴」

東京出身。第63回日本音楽コンクール第2位。99年バリ国立高等音楽院ピアノ科を一等賞で卒業。09年ドイツ国家演奏家資格を取得。これまでに第46回マリア・カナルス(スペイン)、第20回ポルト(ポルトガル)、第5回フランク(フランス)の各国国際コンクールで優勝の他、第61回ジュネーブ(スイス)など、数多くの国際コンクールにて入賞。フランス、ドイツ、イタリア、スペインほか欧州各地でリサイタルを開催、また多くのオーケストラとも共演。国内では東京交響楽団、東京都交響楽団、東フィル、仙台フィルほかと共演。13年の公演は平成25年度文化庁芸術祭音楽部門優秀賞を受賞。これまでに加藤伸佳、ジャック・オウヴィエ、アリエ・ヴァルディの各氏に師事。現在、東京音楽大学専任講師、名古屋音楽大学ピアノ演奏家コース客員准教授。なお、オクタヴィアレコードからベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全集を出している。

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: 10代から繰り返し親しみ、30代前半で一度全曲録音をいたしました。いまでも日々、新しい発見やアイデアを与え続けてくれています。

10.25 [日]

3 11:30開演 (11:00開場)

*終演予定 13:10ころ

[出演] 松本和将

Kazumasa
Matsumoto



[曲目]

- ソナタ 第9番 ホ長調 Op.14-1
- ソナタ 第10番 ト長調 Op.14-2
- ソナタ 第11番 変ロ長調 Op.22
- ソナタ 第12番 変イ長調 Op.26「葬送」

倉敷市生まれ。東京芸大1年時、第67回日本音楽コンクールに優勝し併せて特別賞を始めとする全賞受賞。プゾーニ国際コンクール、エリザベト王妃国際コンクール他、数多くのコンクールで優勝または入賞。これまでにプラハ・フィル、ベルギー国立オケ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京響、東京フィル、東京シティ・フィル、アンサンブル金沢、大阪フィル、関西フィル他多くのオーケストラや一流演奏家と共演。また米國、チェコ、中国、ドイツなど海外でも活躍し、多くのCDもリリース。現在、東京芸大非常勤講師、くらしき作陽大学特任准教授。これまでに谷口厚子、芦田田鶴子、中島和彦、御木本澄子、角野裕、パスカル・ドゥヴァイエヨンの各氏に師事。岡山県芸術特別顕彰、倉敷市芸術文化栄誉賞、福武文化奨励賞、マルセン文化賞、エネルギー音楽賞受賞。元 狛江在住。エコルマホールには3回登場。現在、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会を進行中。

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: ベートーヴェンはショパンやモーツァルトのように最初から完成された天才だったわけではない。彼の曲を年代順に弾いていると、1人の人間がここまでの次元に到達できるのだということに大きな希望を感じ、恐れ多くも自分も挑戦しなくてはならない。

4 14:15開演 (13:45開場)

*終演予定 15:30ころ

[出演] 高田匡隆

Masataka
Takada



[曲目]

- ソナタ 第13番 変ホ長調 Op.27-1
- ソナタ 第14番 嬰ハ短調 Op.27-2「月光」
- ソナタ 第15番 ニ長調「田園」 Op.28

桐朋学園大学からリスト音楽院ほかを経て、イタリア国立サンタ・チェチリア音楽院を首席卒業。第68回日本音楽コンクール第1位及び各賞を受賞。第2回仙台国際コンクール2位、マリア・カラス・グランプリ最高位、リスト国際コンクール2位、モンテリオル国際コンクール2位ほか数々の国際コンクールで優勝や入賞。第53回神奈川文化賞未来賞、第18回京都・青山音楽賞受賞。日本、イタリア、オランダ、ドイツほか欧州各地でも活躍し、南西ドイツ・フィル、モンテリオル響、東京フィル、東京シティ・フィル等多数のオーケストラと共演。福岡幸子、辻井雅子、森安芳樹、加藤伸佳、ジェローム・ローズ、カールマン・ドラフィー、ジョルジュ・ナードル、セルジオ・ベルティカローリの各氏に師事。現在、武蔵野音楽大学及び、桐朋学園大学非常勤講師。狛江在住。エコルマホールには2回登場。

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: 張りつめた緊張感。子供の頃から慣れ親しんでいるはずなのに、年を追うごとに遠くなる存在。いつか同じ視点で音楽を見渡すことができたら、こんなに幸せなことはないだろう。

5 16:45開演 (16:15開場)

*終演予定 18:00ころ

[出演] 児玉麻里

Mari
Kodama



[曲目]

- ソナタ 第16番 ト長調 Op.31-1
- ソナタ 第17番 ニ短調 Op.31-2「テンペスト」
- ソナタ 第18番 変ホ長調 Op.31-3

バリ国立高等音楽院および同音楽院マスター・クラス卒業。ピアノをジェルメーヌ・ムニエ、タチアナ・ニコラエワ、アルフレッド・ブレンデル、室内楽をジュヌヴィエーヌ・ジョア・デュティユに学ぶ。同音楽院を修了後すぐに、ロンドン・フィルとの共演、ロンドンでのリサイタル・デビューなどで賞賛を受ける。以来、ベルリン・フィルとの共演をはじめ、ヨーロッパ各国、ついで北米、更に日本、シンガポールでもオーケストラの共演、リサイタル、音楽祭への出演等々、精力的な演奏活動を展開しており、国際的な名声を確立している。また、2003年から11年の歳月を費やし完成させた「ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全集」のCDが2014年にドイツのペンタトーンよりリリースされ、更にケント・ナガノ指揮による「ベートーヴェン ピアノ協奏曲全集」も完成させた。

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: ベートーヴェンとは私にとって、一生インスピレーションを与えてくれるパートナー。弾くたびにその深い音楽性に打たれます。

10.31 [土]

6 13:00開演 (12:30開場)

*終演予定 14:30ごろ

[出演] 若林 顕

[曲目]

ソナタ 第19番 ト短調 Op.49-1

ソナタ 第20番 ト長調 Op.49-2

ソナタ 第21番 ハ長調 Op.53「ワルトシュタイン」

ソナタ 第22番 ヘ長調 Op.54

ソナタ 第23番 ヘ短調 Op.57「熱情」

Akira
Wakabayashi



日本を代表するヴィルトゥオーソ・ピアニスト。17歳で日本音楽コンクール第2位。東京芸大で田村宏氏、ザルツブルク・モーツァルテウムとベルリン芸術大学院にてハンス・ライグラフ氏に師事。85年ブゾーニ国際ピアノコンクール第2位、87年エリザベート王妃国際コンクール第2位受賞。02年カーネギーホール/ワイル・リサイタル・ホールでリサイタル・デビュー。ベルリン響、サンクトペテルブルク響等にソリストとして招かれるほか、室内楽ではK.ライスター、ライブツィヒ弦楽四重奏団と共演するなど幅広く活躍。桐朋学園大学特任教授、国立音大招聘教授、サントリーホール室内楽アカデミー・コーチング・ファカルティ。なお、現在、3年をかけたベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏を行っている。エコルマホールには2008年に登場。<http://www.wakabayashi-akira.com/>

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: ベートーヴェンは音楽家としての本質的な大切なことを想起させてくれる存在で、「音楽に捧げる姿勢」が最も必要な作曲家です。

7 15:45開演 (15:15開場)

*終演予定 17:00ごろ

[出演] 仲道郁代

[曲目]

ソナタ 第24番 嬰ヘ長調 Op.78「テレーゼ」

ソナタ 第25番 ト長調 Op.79

ソナタ 第26番 変ホ長調 Op.81a「告別」

ソナタ 第27番 ホ短調 Op.90

エリーゼのために Wo059

Ikuyo
Nakamichi



1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。近年は、ショパン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの各シリーズ企画、毎年のサントリーホールでのコンサートなどが好評を得ている。他にも、子どもたちに音楽との幸せな出会いをして欲しいとスタートしたプログラム「不思議ホール」、各地の学校を訪問するアウトリーチ活動など、魅力的な内容とともに豊かな人間性がますます多くのファンを魅了している。レコーディングはソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約。著作やメディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。エコルマホールには96、2008年に登場。<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: ベートーヴェンのピアノソナタは、楽譜とどう向き合うか徹底的に教えてくれたバイブルです。そして、音楽と人生の意味を考えさせてくれる指南書でもあります。

11.1 [日]

8 13:00開演 (12:30開場)

*終演予定 14:20ごろ

[出演] 北村朋幹

[曲目]

ソナタ 第28番 イ長調 Op.101

ソナタ 第29番 変ロ長調 Op.106

「ハンマークラヴィアー」

Tomoki
Kitamura



1991年愛知県生まれ。2006年第6回浜松国際ピアノコンクール、08年第9回シドニー国際ピアノコンクールに入賞。05年第3回東京音楽コンクールにおいては、第1位ならびに審査員大賞(全部門共通)を受賞。「東京の夏」音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどへの出演に加え、これまでに読売日響、東京響、名古屋フィルハーモニー響、シドニー響や国内外の主要オーケストラと共演。2011年でデビューCD「遙かなる恋人に寄す—シューマン「幻想曲」からの展望—」を、2014年には第二弾となる「夜の肖像」(フォンテック)をリリース。愛知県立明和高等学校音楽科を経て東京藝術大学に入学、11年よりベルリン芸術大学に在学し、現在ピアノ科及び古楽科に在籍。ライナー・ベッカー、伊藤恵、エヴァ・ポプウォッカ、ミツィ・メイヤーソンの各氏に師事。エコルマホールには2010年に登場。<http://tomoki-kitamura.com>

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: 約250年前に生きた、偉大な人生の大先輩の日記。その作曲された年代により共感できたり、これから自分が進むべき道を示してもらえたりします。

9 15:30開演 (15:00開場)

*終演予定 17:00ごろ

[出演] 野平一郎

[曲目]

ソナタ 第30番 ホ長調 Op.109

ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110

ソナタ 第32番 ハ短調 Op.111

Ichiro
Nodaïra



1953年生まれ。東京芸術大学、同大学院修士課程作曲科を修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとしては内外の主要オーケストラにソリストとして出演する一方、多くの内外の名手たちと共演し、室内楽奏者としても活躍。近年は指揮者としても高い評価を得る。これまでに発表した作品は80曲以上に及ぶ。CDはベートーヴェン作品集1〜12(ライヴノーツ)ほか数多くを発表。第13回中島健蔵音楽賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞、第35回サントリー音楽賞、第55回芸術選奨文部科学大臣賞、第44回、第61回尾高賞を受賞。2012年には紫綬褒章を受章。現在、静岡音楽館AOI芸術監督。東京芸術大学作曲科教授。エコルマホールには2001年に登場。<http://ichironodaïra.com/j>

Q: あなたにとってのベートーヴェンのピアノ・ソナタとは?

A: 最も身近にある古典、手元にある常に気になる思索の対象。いま生まれた音楽のように接することができる。

■ 出演者について

まず、トップバッターを飾るのは伊藤 恵。自他ともに認めるシューマン弾きですが、ここ数年はシューベルトを集中的に取り上げ、これからのいよいよベートーヴェンに挑み始めるというタイミングでの出演です。

そして、菊地裕介、松本和将、高田匡隆の3人は日本音楽コンクール優勝&入賞経歴で公私共に交流がありお互いに良きライバルですが、全く異なるタイプのピアニストです。菊地、松本は既にソナタ全曲演奏を行っていますが、ヴィルトゥオーソタイプの高田にとっては新境地と言えます。

ベルリン在住で国際的に活躍している児玉麻理は、ソナタとピアノ協奏曲ともに全曲を録音しているベテラン。日本でのソロ演奏は機会が少なく貴重です。

若林 顕は近年、スケールの大きさを増し、昨年より3年をかけてソナタ全曲演奏に取り組んでいます。

仲道郁代も早い時期からソナタ全曲録音、全曲演奏を行い、「ベートーヴェン弾き」として既に名声を得ています。

今回一番の若手である北村朋幹はベルリンに留学中ですが、10代の頃からすでに活躍する次世代注目のピアニストです。

そして、ラストを飾るのは作曲家、ピアニストとして多彩な活動をしている野平一郎。ソナタ全曲録音で注目を集め高い評価を得ており、今、円熟を迎えつつあります。

■ ベートーヴェンのピアノ・ソナタについて

過去を振り返らず、常に歩みを止めることがなかったベートーヴェン。ひとつとして同じタイプの作品がなく、いつも新しいことを求め、創造する苦労は惜しみませんでした。

初期(～1801)のピアノ・ソナタは先輩作曲家であったハイドン、モーツァルトの古典的なスタイルを引き継いでいましたが、交響曲のように規模が大きく演奏も難しく、エネルギー溢れる作品であり、当時はピアノの名手として活躍していたベートーヴェンでしたが、すでに個性が強が出ています。新進の作曲家として注目を集めることとなったソナタ「悲愴」は、厳かに始まる前代未聞のスタイルで書かれ、人々はそれに驚きました。その後は楽章の構成を変えたり、即興的な要素や楽章の切れ目を無くすなど次々に新しい試みを取り入れます。そして、これも当時としてはありえない第1楽章が遅いテンポで始まるソナタ「月光」が生まれたのです。この頃から耳の変調を感じ始めました。

中期(1802～1810)になると、「普通の作風ではなく革命的な作品を」と依頼を受けましたが、ベートーヴェンは拒否。しかし、その依頼の影響があったのでしょうか。シェークスピアの劇的な物語を作品に盛り込んだソナタ「テンペスト」など、色々な模索をしながら次々とソナタを書いています。また、この時期の楽器の進化もベートーヴェンの創作力をかきたてました。初期に使用していたピアノの鍵盤は61鍵でしたが、ベートーヴェンはフランスのエラール社の性能が良くなった68鍵のピアノを贈られたことにより、その性能を最大限に生かしたソナタ「ワルトシュタイン」を作曲しました。そして、楽器の進歩とベートーヴェンの作曲創造が見事に合わさった頂点とも言える傑作ソナタ「熱情」の誕生へとつながります。しかし、この「熱情」の後、美しい小品的なソナタを書くものの、規模の大きなソナタを書くまで長い空白ができました。ちなみに、この空白はベートーヴェンの創作力が衰えたのではなく、健康問題や社会状況の変化によるものと考えられます。

後期(1816～1822)になると、更に聴覚障害がひどくなりましたが、しばらくの空白期間が新たな創作力を温存したのでしょうか。過去の偉大な作曲家バッハやヘンデルらの作品に関心が向けられ、研究をし、さらに73鍵の最新ピアノを贈られたことにより新たな大作ソナタ「ハンマークラヴィア」が生み出されました。そして、いよいよ最後となる3つのソナタでも新たな試みを取り入れ、円熟した作曲技法に高い精神性が加わった、誰にも真似のする事ができない独創的な作品を書き上げたのです。ベートーヴェンは人間の感情をただ音楽にしたのではなく、緻密な考えの下で建築物のようにきちんと理論を組み立てて作曲をし、常に葛藤や悲劇から、喜びや勝利へと転じる音楽を書いたのです。



Beethoven Piano Sonata Cycle

チケットの販売について

■ 単独公演券 全席指定 ¥2,000

一般発売: 8/27(木)

倶楽部E発売: 8/21(金)

■ 全9公演セット券 全席指定 ¥10,000

⇒ ¥2,000 x 9公演 = ¥18,000で ¥8,000お得です。

一般発売: 7/30(木)～8/10(月)

倶楽部E発売: 7/24(金)～8/10(月)

* 期間限定販売・全9公演同一席で鑑賞ができます。
* セット券はエコルマホールのみでの販売になります。

- ♪ 発売初日のエコルマホール窓口でのチケット販売は9:00から、電話予約は13:00から受付いたします。
- ♪ 内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。
- ♪ 未就学児はご遠慮下さい。託児サービス(2歳以上の未就学児1人につき1,000円・定員制・公演の2週間前までに要予約)がございます。詳細はお問合せ下さい。

プレイガイド (単独公演チケットのみ販売)

チケットぴあ <http://pia.jp/> 0570(02)9999
Odakyu OX 狛江店1F 宝くじShop (窓口販売のみ)

エコルマホール開館20周年記念企画

～ベートーヴェンをたたえて1～

飯守泰次郎の“英雄”

燃える情熱が、ドイツ音楽の神髄を伝える

出演 二瓶真悠 / ヴァイオリン 東京フィルハーモニー交響楽団 / 管弦楽

5.17 [日] 15:00開演

公演終了

～ベートーヴェンをたたえて3～

第九 山田和樹 指揮 横浜シンフォニエッタ / 東京混声合唱団

出演

指揮: 山田和樹 管弦楽: 横浜シンフォニエッタ 合唱: 東京混声合唱団
ソプラノ: 山田英津子 アルト: 高橋由樹 テノール: 川出康平 バリトン: 小森輝彦

曲目 ベートーヴェン: カンタータ「静かな海と楽しい航海」、交響曲第9番二短調

12.27 [日] 14:00開演 (13:15開場)
全席指定 ¥6,500

一般発売: 9/25(金)

倶楽部E発売: 9/18(金)